

第42回全国実業団選手権大会



10月17・18日 / 稲沢グランドボウル

菊地電設が連覇を達成



▲2連覇の菊地電設

第42回全国実業団選手権大会は、123チーム(4人チーム)が参加して10月17、18の両日、愛知・稲沢市の稲沢グランドボウルで行われた。

予選9G、決勝3Gの12G(チーム48G)トータルで争われた。予選3回戦でハイシリーズ賞となる2846を叩いたディフェンディングチャンピオンの菊地電設(河合・河合・菊池・佐々木)が、トータル8262のトップで決勝に進んだ。2位には3年前

に優勝の鈴野製作所(鈴野・鈴野・鈴野・清水)がつけていたが、菊地電設とは251ピンの差がついていた。

決勝で菊地電設は2588とややペースを落としたものの、トータル10850で余裕の逃げ切りを決め、連覇を達成した。鈴野製作所は2605とまとめ、10616で2位を守り、3位にも、予選を3位通過の箱根登山鉄道A(小野・赤俣・小泉・鈴木)が10572で入った。



▲入賞チーム

第28回ABBF北海道選手権

9月19・20日 / ラウンドワン函館店

ハイスコアの戦いを制し 札幌市役所が4年ぶりのV

第28回北海道選手権大会は、35チーム(2人チーム)が参加して、9月19日から2日間、函館市のラウンドワンスタジアム函館店で開催された。



▲4年ぶりの優勝を飾った札幌市役所Bチーム

予選9G、決勝3Gの12G(チーム24G)トータルで争われたが、予選から高得点が続出するハイスコアの戦いとなった。トップで決勝に進んだ札幌市役所B(高橋美津技・高橋浩一)を、予選3位通過の滝川市役所(中川祐介・米倉優)が懸命に追いかけたが、札幌市役所Bは、予選でも800シリーズをマークした浩一選手が決勝でも再び800シリーズを出す活躍もあって、トータル5437で危なげなく逃げ切り、4年ぶりの優勝を飾った。滝川市役所は5290で2位、3位に5115でJ・テクノサービス(細川澄江・細川淳一)が入った。